

事 案 調 書 (決 定 会 議)

審議日 令和8 年 6 月 11 日

案 件 名	SDGs全国フォーラムの誘致について									
所 管	市長公室	局 区		部	みんなのSDGs推進	課	担当者		内線	
事案概要										
SDGs全国フォーラムは、自治体主導のSDGsの取組を全国に発信すること目的として、国、自治体、企業、教育機関、市民団体など多様な主体が集まり、先進事例の共有や連携強化を図る国内におけるSDGs関連の主要なコンベンションのひとつ 令和9年度のSDGs全国フォーラムを本市に誘致すること及び実施内容案について付議するもの										
審議事項 庁議で決定 したいこと及び 想定(希望) している結論	令和9年度のSDGs全国フォーラムを本市に誘致すること及び実施内容案について									
審議結果 (政策課記入)	○原案のとおり承認する。									
事業効果 総合計画との関連	事業効果	都市ブランド、シビックプライドの向上 交流人口の増加、経済波及効果(87,400千円≒8,700万円) ネットワーク形成、連携推進								
	効果測定指標	来場者数						施策番号	28.47	
	年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13			
	事業効果 年度目標		延べ3,000人							
事業スケジュール / 事業経費・財源 / 必要人工										
○事業スケジュール										
年度	R8		R9	R10	R11	R12	R13	R14		
実施 内容	庁内 調整									
	誘致 活動	決定								
	単年度、予算 要求	予算査定								
	人員要求									
	SDGs全国フォーラム	豊田								
	事業開始	開催								

○事業経費・財源

(千円)

項目	補助率/充当率	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
事業費(企画費)			17,510					
うち任意分			17,510					
特財								
国、県支出金								
地方債								
その他								
一般財源		0	17,510	0	0	0	0	0
うち任意分								
捻出する財源※2								
一般財源拠出見込額		0	17,510	0	0	0	0	0
元利償還金(交付税措置分を除く)								
捻出する財源概要								
税源涵養 (事業の税収効果)	MICE 簡易測定モデルによる税収効果約1,400千円(=140万円)							

○必要人工(事業実施に当たり、新たな人員配置を求める場合のみ記入)

(人工)

項目		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
実施に係る人工	A		1					
局内で捻出する人工※	B							
必要な人工	C=A-B	0	1	0	0	0	0	0
局内で捻出する人工概要								

SDGs 関連ゴールに○									
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									
	○	○	○	○	○	○	○	○	

日程等 調整事項	条例等の調整	なし	議会提案時期		報道への情報提供	資料提供
	パブリックコメント	なし	時期		議会への情報提供	資料提供

事前調整、検討経過等

調整部局名等	調整内容・結果
関係課長打合せ会議	【結果】意見を踏まえ資料を修正し、調整会議に付議する。
(R8.5.14)	[主な意見]
	財源について、企業協賛や実行委員会形式など民間からの資金調達を検討されたい。
	調整定数の要求は承知したが、査定での対応となる。定数を増やさない形で効率よく実施してほしい。
	[出席課]
	政策課、マーケティング課、観光政策課、シティプロモーション戦略課、人事・給与課、
	財政課、契約課、市民協働推進課、文化振興課、産業支援・雇用対策課、都市整備課、
	南区役所地域振興課
調整会議(R8.5.28)	【結果】原案のとおり上部会議に付議する。

備 考	資料のカラーユニバーサルデザイン確認済み

庁議におけるこれまでの議論		
(開催日)	R8.5.28	(庁議種類) 調整会議
(庁議結果)	原案のとおり承認する。	

○(緑区役所区政策課長)MONDO全館の使用について、飲食を伴う想定か。その場合、参加者から会費を徴収するか。
→(みんなのSDGs推進課長)飲食は想定していない。SDGs未来都市に選定されている都市やSDGsパートナー企業・団体等への参加依頼とともに、個人の方には申込制により参加していただこうと考えている。

○(シティプロモーション戦略課)来場者目標を3,000人としているが、過去の開催実績と比較すると高い目標となっている。関係する企業、個人の参加を見込んでいるとのことだが、若年層をターゲットにはしないのか。
→(みんなのSDGs推進課長)同時開催予定の毎年実施している「相模原SDGsEXPO」は、SDGsパートナーの他、子どもも含めた市民を対象としている。

○(シティプロモーション戦略課)「全国フォーラム」という名称ではあるが、実際に全国から来場する見込みはあるか。本市での開催は主に首都圏からの来場となる想定か。大阪府での開催時はどうだったか。
→(みんなのSDGs推進課)大阪府での開催時は関係自治体に案内があり、我々も視察のため参加したが、本市での開催に当たっても、広く全国から来ていただけるように声掛けする。

○(南区役所区政策課長)次回開催都市は、本年10月までには決定するか。
→(みんなのSDGs推進課長)まずは本年度の開催都市である豊田市に対し、正式に開催都市として立候補する必要がある。その前段として、当該フォーラムに初回から携わっていらっしゃる慶應義塾大学の蟹江教授や、同じく特任教授である川廷昌弘氏に相談しておく必要がある。川廷特任教授は、本市のSDGs推進アドバイザーでもある。庁議で誘致が承認されたら、速やかに立候補したいと考えている。

(総務法制課長)他の自治体の立候補予定は把握しているか。
→(みんなのSDGs推進課長)以前確認したところ、豊田市にはまだ他自治体からの接触はないようだった。大阪府にも確認したところ、一時、広島県が検討しているとのことだった。なお、本市が開催した場合には、本市も同様に次期開催都市を決定していくことになる。

→(人事・給与課総括主幹)過去の開催をみると、開催されていない年もあるが。
→(みんなのSDGs推進課長)当初は隔年開催だったようだが、立候補する自治体があれば、開催されるという状況である。2027年に開催される国連のSDGsサミットでポスト2030アジェンダ議論が公式に始まり、注目を集めることが予想されるため、その後初めて開催される全国フォーラムに立候補することにより、対外発信効果が増すと期待される。

→(人事・給与課総括主幹)人員については、開催都市決定前に要求する形になるか。
→(みんなのSDGs推進課)次期開催都市については、定数要求時には決まっていないが、予算要求時点では内定していることが多く、豊田市は前年度の9月頃には決まっていたと聞いている。

○(政策課長)開催時期が2月である理由は。
→(みんなのSDGs推進課長)秋に国連サミットが開催されるため、その後の議会開催月やホールの工事期間を避けた結果である。橋本での開催も検討したが、杜のホールでも工事の実施予定があるため、相模大野とした。

○(総務法制課長)豊田市での開催はオンライン参加が可能か。
→(みんなのSDGs推進課主査)豊田市の開催内容はまだ不明であるが、大阪府はライブ配信やアーカイブ動画の公開を行っている。

→(総務法制課長)豊田市は予算額が他と比べて少ないが、企業の協賛などの予定があるのか。
→(みんなのSDGs推進課長)確認はしていないが、産業部門の予算が別途確保されている可能性はある。

○(マーケティング課長)経済波及効果について、地域内での調達・消費・雇用が生まれるよう事業展開していただきたい。
→(みんなのSDGs推進課長)全国フォーラムにあわせ、「相模原SDGsEXPO」の事業内容の変更や拡充も検討している。

→(南区役所区政策課長)会場周辺の商店会やユニコムプラザさがみはらなど、地元と連携していただきたい。以前、全国救急隊員シンポジウムを相模大野で実施した際も、地元と連携した事業を実施したため、参考にされたい。南区役所地域振興課に相談していただければと思う。

→(財政課長)費用は基本的には、市が負担するということだが、SDGsパートナー企業に協力を仰ぎ、市一丸となってやっていることをPRできると良い。

→(みんなのSDGs推進課長)「相模原SDGsEXPO」では例年、パートナー企業からモノを提供してもらっているが、全国フォーラム開催にあたっては協賛していただくことにより、企業名を印刷物に記載するなど、経費削減について検討していく。

○(政策課長)事業はすべて委託する予定か。
→(みんなのSDGs推進課主査)現在想定している事業をすべて委託すると、さらに1,000万円ほどかかるため、職員1名分を人員要求することにより、事業費を抑えている。

○(政策課長)今回の審議事項は誘致の可否及び実施内容案ということでよいか。
→(みんなのSDGs推進課主査)そのとおり。この内容で予算・人員の要求を行い、査定を受けたいと考えている。

SDGs全国フォーラムの誘致について

令和8年6月11日

決定会議

市長公室みんなのSDGs推進課

概要

SDGs 全国フォーラムは、自治体主導のSDGsの取組を全国に発信すること目的として、国、自治体、企業、教育機関、市民団体など多様な主体が集まり、先進事例の共有や連携強化を図る国内におけるSDGs関連の主要なコンベンションの一つ



基調講演

有識者や実務者によるSDGsの最新動向、国内外の取り組み事例の紹介



分科会・パネルディスカッション

環境、観光、地域活性化、企業経営などテーマ別に議論



事例発表

自治体・企業による先進事例（脱炭素、地方創生、教育連携等）



ネットワーキング

参加者間の交流・連携機会の創出

SDGs
全国フォーラム 2024 沖縄

2024 12.21土 開催時間 10:00～17:00 (開場 09:30 / 開演 10:00)
場 所 沖縄県市町村自治会館 [2階ホール]

10:00-10:50 開会セレモニー：郷土芸能／南風原高校郷土芸能部、主催者挨拶：沖縄県知事／玉城 デニー
11:00-12:40 セッション1：国内外のSDGsの方向とポストSDGsに向けて

基調講演 平和とSDGs、そして未来へ 蟹江 薫史氏
パネルディスカッション 「持続可能な未来を共に築く」
パネリスト ファンシリクター
尾崎義典 大学大学院政策・メディア研究科教授
蟹江 薫史氏 玉城 デニー氏 喜納 俊氏 野口 昌世子氏 平良 次子氏 玉城 直美氏

14:00-16:00 セッション2：自然環境の保全と持続可能な観光の推進
基調講演 「未来につなぐ 再生型観光」 ミツイエ・ヴァーレイ氏
基調講演 「美しい島々を未来へ」 土屋 誠氏
パネルディスカッション 「自然の回復・再生と持続可能な観光」
パネリスト ファンシリクター
16:05-16:45 セッション3：次世代からのメッセージ
「高校生によるメッセージ発表」「大学生による宣言発表(世界人権宣言)」
16:50-17:00 閉会セレモニー：次期開催地の知事あいさつ

フォーラムの模様は、来場参加とオンラインによるライブ配信がご覧いただけます。

参加申込み フォーム 各のQRコードをダウンロードし、必要事項をご記入ください。 申込サイトはこちら 申込QRコード 申込フォーム

後 援 SDGs全国フォーラム2024 沖縄運営事務局 〒110-0005 東京都千代田区千代田1-1-1 日本郵政株式会社1100ビル12F 事務局

概要（開催実績）

年度	実施日	主催	会場	参加者
H30	平成31年1月30日	神奈川県 (横浜市、 鎌倉市共催)	パシフィコ横浜	1,215名
R2	令和3年1月30日、31日	長野県	オンライン	2,536名
R4	令和4年11月12日	滋賀県	滋賀県立県民交流センター	来場133名 オンライン490名
R6	令和6年12月21日	沖縄県	沖縄県市町村自治会館	来場206名 オンライン160名
R7	令和7年9月5日	大阪府	EXPOホール (大阪・関西万博会場内)	1,552名
R8	令和9年2月頃	豊田市	未定	※

- ※ 広域自治体主催で持ち回り開催されてきたが、令和8年度は愛知県豊田市が基礎自治体として初めて主催予定。
- ※ 次回開催都市の首長が出席し、次回開催のPRを行う慣例がある。

審議事項①

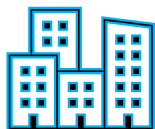
SDGsは国の重要政策（地方創生・脱炭素・企業連携）と直結しているほか、自治体の取組の「見える化・発信」が重要
これまで本市ではさまざまな取組を行ってきたが、
SDGs先進都市日本一を目指すためにも、「発信」にあたる

「令和9年度SDGs全国フォーラム」 の誘致を行うことについて

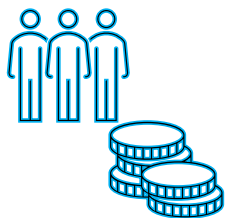
開催都市が全額費用を負担するため、
遅くとも次年度予算要求までには次年度の開催都市は決定する。
立候補の早い都市が圧倒的に有利。
豊田市としては令和8年夏ごろまでには次の開催都市を決定したい意向。

事業効果

都市ブランド、シビックプライドの向上



- ・国内におけるSDGs関連の主要なコンベンション開催による対外発信
- ★2027年10月頃の国連SDGsサミットで、2030年以降の国際目標の設計（ポスト2030アジェンダ）議論が公式に始まった後、初めてのSDGs全国フォーラムとなるため、対外発信効果が絶大
- ・「SDGsに積極的な自治体」としての認知獲得



交流人口の増加、経済波及効果

- ・自治体、企業、教育機関関係者等の来訪
- ・ビジネス来訪による宿泊、飲食、交通等の消費発生、平日の需要喚起

ネットワーク形成



- ・国、自治体、企業、教育機関等との直接接点構築
- ・SDGsパートナーを含めた地域内外のステークホルダーとの連携推進
- ・視察、実証、企業進出のきっかけ



メディアへの掲載事例

事業効果（経済波及効果）

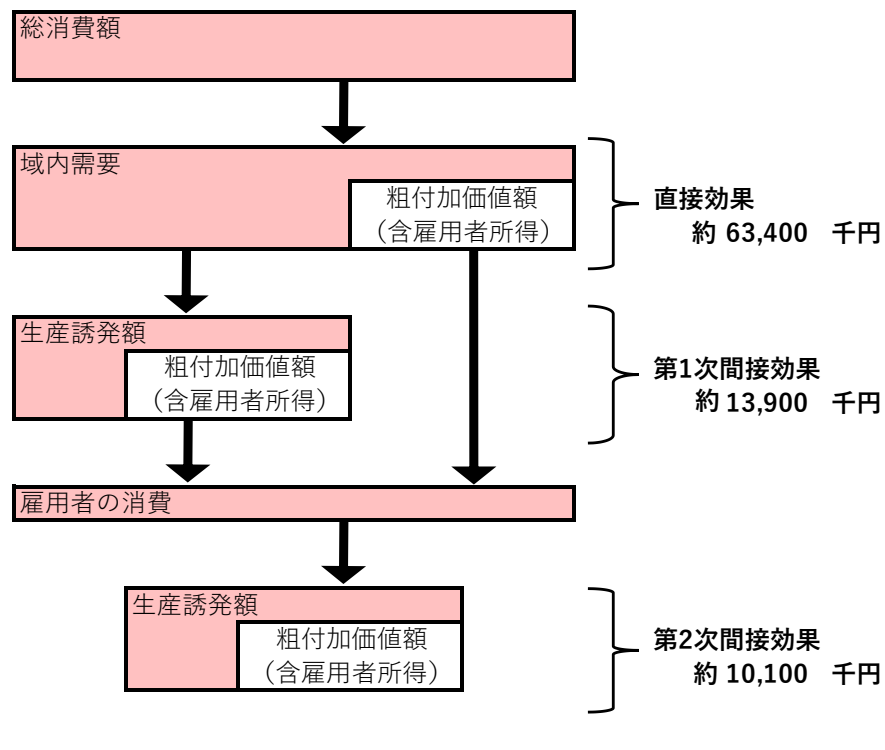
国土交通省観光庁＜MICE開催による経済波及効果測定のための簡易測定モデルver.4＞を用いて算出

【条件】

MICE名称	MICEタイプ	開始日	終了日	日本人 (日帰り)	日本人 (宿泊)	外国人	展示面積(㎡)	主催者事業費 (千円)
SDGs全国 フォーラム	コンベンション +展示会	2028/2/11	2028/2/11	3,000	150	10	1,050	20,309※

※相模原SDGsEXPOの事業費2,799千円含む

神奈川県(相模原市)



【直接効果】

「MICEに直接関わる主体」による消費総額のうち、地域における支出（「主催者」「参加者（出展者）」「来場者」による飲食業、宿泊業、会場設営業、イベント運営業など

【第1次間接効果】

直接効果によって需要が増加した周辺産業から生み出される需要宿泊施設や飲食店が仕入れる商品・サービスの需要増

【第2次間接効果】

直接効果および間接1次波及効果で生み出された需要によって増加した雇用者所得による、新たな消費需要

経済波及効果
約 87,400 千円
≒ 8,700 万円

税収効果（市町村税）
約 1,400 千円
≒ 140 万円

審議事項②（実施内容案）



日時

令和10年2月上旬

場所

相模女子大学グリーンホール、PARTY ROOM by MONDO

フォーラムのベース



基調講演

有識者や実務者によるSDGsの最新動向、国内外の取組事例の紹介



パネルディスカッション

共生社会、脱炭素、循環型社会、イノベーション創出などテーマ別に議論



事例発表

自治体・企業による先進事例（脱炭素、地方創生、教育連携等）



ネットワーキング

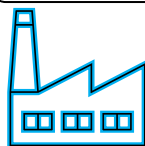
参加者間の交流・連携機会の創出

来場者目標

延べ約3,000名

※相模原SDGsEXPOの来場者含む

本市独自の取組



テクニカルビジット、エクスカーション

市内の先進的な企業等に赴く体験型の視察、研修



相模原SDGsEXPO

SDGsパートナーの出展など、相模原SDGsEXPOを同時開催し、集客増につなげる

このほかに、ミールクーポンなど商店街との連携施策やオーノクロスの活用を検討

同時開催が想定されるもの



官民MEET

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム（事務局：内閣府）が主催するSDGsを原動力とした地方創生の推進のため官民連携のきっかけをつくる対面イベント

ビヨンドSDGs 官民会議



2030年以降を見据えて、政府と企業、団体などが連携して議論する会議

- 開催日時：令和8年6月11日
○開催場所：本庁舎本館 2階 第1特別会議室
- 案件名：SDGs全国フォーラムの誘致について
○担当課：市長公室 みんなのSDGs推進課

(庁議構成員)

■市長公室長 ■市長公室理事 ■総務局長 ■財政局長 ■政策部長
■シビックプライド担当部長 ■財政部長 ■緑区副区長 ■中央区副区長
■南区副区長 ■政策課長 ■総務法制課長 ■財政課長

(担当課)

■シビックプライド担当部長 ■みんなのSDGs推進課長

(1) 主な意見等

- (市長公室理事) 令和9年度に実施したい理由があるのか。
→(シビックプライド担当部長) 国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は2030年を目標に設定されているが、その先を検討する「ポスト2030アジェンダ」の策定に向けた検討が令和9年の秋に開始されることとなっており、開始後初めて実施される全国フォーラムは、かなり注目されることが想定されるため、令和9年度は当たり年だと考えている。
- (市長公室理事) もし令和9年度の開催都市に選出されなかった場合は、令和10年度以降の開催を目指すのか。
→(シビックプライド担当部長) 今年度の開催都市は豊田市であるが、豊田市が次回開催都市を指名するスタイルになっている。これまでは基本的には立候補した都市に充当しているという印象で、今のところは本市しか立候補していないと承知している。
- (政策部長) 行政主導で実施するのは良いが、市内には脱酸素を掲げている世界に誇る企業もあるため、テクニカルビジットやエクスカーションだけでなく、開催趣旨に関わる企業を巻き込んで、参加してもらえそうな仕掛けや仕組みを検討していただきたい。フォーラム自体に話題性があり、市内消費も促進されるため、自治体だけで実施するのではなく、民間を巻き込めると、対外的な発信力がより高まる。
→(シビックプライド担当部長) 例年開催している「相模原SDGs EXPO」との同時開催を想定しており、当該イベントはSDGsに取り組んでいる企業に参加していただいているので、さらに例年参加されていない企業にも調整を図っていききたい。また、開催場所である南区の地域の商店街とも連携していききたい。
- (財政局長) 来場者目標を3,000名としているが、どのように設定しているのか。
→(シビックプライド担当部長) 「相模原SDGs EXPO」は昨年度、4,500名の参加をいただいております。今回は会場のおおきさ等を考慮し、最低でも3,000名は見込めると試算しているものである。
- (総務局長) 今回、立候補を提案した経緯や立候補する条件があれば教えていただきたい。
→(シビックプライド担当部長) 全国フォーラムに職員が参加する中で、本市においても開催したい思いがあったが、これまでは基礎自治体が開催していなかったところ、本年度、豊田市が開催することになったことと、先ほどお伝えしたとおり、開催時期のタイミングが良いことから、今回、立候補について提案しているものである。立候補の条件は特段ないが、前年度の開催都市に承認を受ける必要があり、承認に当たっては、当該フォーラムに初回から携わっていらっしゃる大学教授等に相談しておく必要がある。

- (総務局長) 本市が開催都市になった暁には、本市も次回開催都市を決定するということが。
- (シビックプライド担当部長) そのとおり。立候補を受けるか、立候補がなければ、本市が開催都市を当てることになる。
- (市長公室長) 開催都市として承認されれば、来年2月に開催される豊田市のフォーラムに本市長が出席することになるのか。
- (シビックプライド担当部長) そのとおり。翌年度の開催都市であることをPRするためにも出席することとなる。
- (財政局長) 国は当該フォーラムには関わっていないのか。
- (シビックプライド担当部長) 直接は関わっていないが、大阪府開催の際は、SDGsを原動力とした地方創生推進のための官民ミートというイベントを内閣府が開催しており、本市でも開催依頼を検討している。

(2) 結 果

- 原案のとおり承認する。

以 上